

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・現道の国道122号は雨量規制や災害で通行止めとなることが多く危険です。(地元住民)
- ・カーブも多く、見通しが悪いため交通事故が起こりそうです。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: みどり市大間々町下神梅～塩原
- 事業内容: バイパス整備 延長1.4km 道路幅 10.5m
- 事業期間: 平成28年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当(代替・補完路)

- 現在の交通量: 12,148台/日(現道 自動車) (令和3年度) 8人/12時間(現道 歩行者) 33台/12時間(現道 自転車)
- 計画交通量 : 11,600台/日(バイパス 自動車) (令和22年度)

事業前

- ◆ 現道の国道122号は雨量通行規制区間や斜面崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、災害時に通行止めとなるおそれがあります。

国道122号 法面崩落(H23)



事業前の状況

事業後

- ◆ 現道の危険箇所を回避することで、災害時にも機能する強靱な道路ネットワークが確保されます。



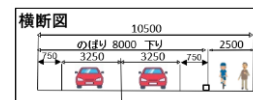
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
現道の通行規制件数	7件(H23～)
現道の災害危険箇所	21箇所

実施後(目標)
0件(7件減少)
0箇所(21箇所減少)



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は用地取得を進めるとともに道路改良工事を実施します。

